

# 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人よみたん自然学校

## 1 事業の成果

コロナ禍3年目となり、引き続き感染対策をとりながらの事業展開となった。一方で、ワクチン接種が進み、ウイルスが弱毒化してきたことにより、社会経済活動の活性化が図られたことを受け、年度後半は、コロナ禍前に近い事業を実施することができた。また、認可外保育施設運営に関わる補助金が増額され、国のキャリアアップ助成金や IT 導入補助金が交付され、公益財団法人 SOMPO 福祉財団の NPO 基盤強化資金が助成されたものの、単年度の黒字化までは至らず、厳しい経営が続いている。

自然体験活動等の企画及び実施事業のうち、3年保育「幼児の学校」事業は定員である20名前後、フリースクール「小学部」事業は、定員20名を超える通学者がいる状況が続き、昨年度以上の規模で継続して実施することができた。「幼児の学校」と「小学部」を本にまとめる計画は原稿集め等を少しずつ進めており、来年度も継続して進めることとする。また、キャンプ事業については、3年ぶりに例年通りの宿泊型での開催となったものの、すべてのコースで定員を満たすには至らなかった。ちんすこうづくり体験については、年度前半は厳しい状況が続いたが、年度後半からは県外からの修学旅行生を含め沖縄県への観光客が増えてきたことで大幅に回復した。

人材育成事業では、今年度から新たに大学生インターンシップ受け入れを行うとともに、独自の実習生制度を作って公募し実習生の受け入れを行った。普及啓発事業では、主催事業として東京で活動報告会を行うとともに、琉球大学、沖縄リハビリテーション福祉学院、NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟等に講師を派遣するなど新たな事業展開を行うことができた。調査研究事業については、共著で日本女子大学大学院紀要に論文掲載を行った。物品販売事業については、活動報告会などイベント開催の機会が増えたこともあり、売り上げが微増となった。

本年度より税理士と顧問契約を結び、法人経営を機動的に行えるよう、理事会機能を強化するとともに、8月より事務局長、10月より事務局員を迎え入れ、事務局体制を整えた。9月に認定 NPO 法人の申請を行い、11月に実態調査を受け、12月に追加調査の書類を提出し、令和4年12月19日付で認定を取得した。当法人への寄付者が税制上の優遇措置を受けられるようになったため、寄付及び賛助会員募集を強化したところ、前年度より多くの支援をいただいた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
自然体験活動 等の企画及び 実施事業	豊かな自然環境の中での びのびと過ごし、自然や 人との関わりを通して、 自分らしく生き抜く力と 優しさを持った自立心を 育む場、3年保育「幼児 学校」事業。	通年	よみたん 自然学校 及びその 周辺	9人	幼児 21人	23,063
	学びたいと思う子どもた ちの気持ちや主体性を尊 重し、その子自身のペー スで学び成長する場、フ リースクール「小学部」 事業。	通年	よみたん 自然学校 及びその 周辺	5人	小学生 23人	
	かまどでご飯を炊き、海 で遊び、テントを張って 泊まる。自然体験活動や 環境教育のねらいをコー スごとに設定した宿泊& 日帰りキャンプ事業。	通年	よみたん 自然学校 及びその 周辺	23人	子どもから 大人まで のべ179人	
	琉球伝統銘菓ちんすこう づくり体験。ガスオーブ ンで焼くお手軽コースと 石窯で焼く本格コース。	通年	よみたん 自然学校	6人	観光客 893人	
人材育成事業	自然体験活動指導者養成 、学生ボランティア養成 、実習生の受け入れ等の 指導者養成事業。	通年	よみたん 自然学校	8人	大人、学生 のべ154人	298
普及啓発事業	当法人主催のイベント、 講演会、勉強会、あるい は、NPO等同じ理念を持 つ団体等主催のイベント 、講演会、勉強会の講師 派遣など、持続可能な社 会につながる暮らしを普 及し啓発する事業。	通年	よみたん 自然学校 及び 全国各地	1人	広く一般	1,014

調査研究事業	主体性を育み、ジェンダーや障害など多様性を認め、自然環境を保全すること等、持続可能な社会づくりのための調査研究、学会発表、論文投稿等の事業。	通年	よみたん自然学校及び関連学会	1人	広く一般	20
物品販売事業	活動を紹介し広報するための、Tシャツ等関連グッズの販売。	通年	よみたん自然学校及び全国各地	4人	子どもから大人まで 66人	216